

# カレッジ通信

編集・発行

東京建築カレッジ

授業見学  
大歓迎!

TEL 03  
(5950)  
1771

## 建材メーカー勤務で技能者不足の深刻さを知る 父の工務店を継ぐため、東京建築カレッジへ

### 第29期生 三國 宏輔さんが新入生代表決意表明

世田谷区桜丘 (株)三國工務店



入学式後の第29期生記念撮影。前列中央は小林謙二学校長、後列左端は須藤学教務部長。年齢構成は10代・20代 9人(前期18人)、30代 3人(前期 5人)、40代以上 3人(前期 0人)。会場は池袋校舎3階大教室

東京建築カレッジは4月3日、第29期生入学式をおこないました。新入生は15人。募集活動は苦戦し、過去最低の第25期生(13人)に次ぐ人数でした。しかし、学ぶ意欲はみなぎっています。高校新卒、20代・30代転職組、人生経験豊かな40代・50代が「同級生」になって、建築カレッジ生活を始めます。ここでしか得られない貴重な経験です。

## 自分自身が大工技能者になる！ 職人さんとのつながりもつくる！

今年の入学式の新入生決意表明は、東京建築カレッジの存在意義を再確認させられる内容でした。第29期生代表、三國宏輔(みくに・ひろすけ)さんの発言の概要を紹介します。



三國 宏輔さん

私は大学卒業後、建材メーカーに12年間勤務し、主に営業職で屋根工事の現場管理を担当していました。父が工務店を経営していたので、子どもの頃から建築やものづくりに興味があり、高校生の頃には進路を決め、父の仕事に継ぐ気持ちをかためていました。大卒後すぐに家業の工務店に入るのではなく、広く社会を

経験してからのほうが良いと考え、建材メーカーに就職しました。会社では、建物が完成する達成感と共に、クレームや労働災害など、建築業界の色々な面を見てきました。

特に、大きな課題だと感じたのが、職人不足です。3か月後に始まる現場の職人を手配するのに、全国の複数の業者に依頼したり、ひどい時には明日あさつての工事を担当する職人さんを手配するのに電話をかけたこともありました。職人が7〜8人いる会社を見つけても、道具が使って作業指示ができる人が1人しかいないため、一つの現場しかお願いできないこともありました。たんなる人不足ではなく、技能者がいませんでした。

〇 〇 〇

父の工務店を継ごう、と決めた時も、この問題を考えていました。自分が職人(技能者)になること、職人さんとのつながりを自分自身がつくることが一つの答えでした。それらがかなう環境を探して出会ったのが東京建築カレッジです。手刻みへのこだわり、実際のスケール感での実習を通じ、構造や設計製図を学ぶことができる。さらに、自分と似たような志を持つ仲間と出会える。まさに、私が探していた環境でした。学校・授業見学で確信はより確かなものになりました。

大工としての第一歩を今日踏み出します。そして同期の仲間たちや先輩(来年入ってくる)後輩、先生方とのネットワークを広げる決意をここに表明します。◆



東京建築カレッジの建築の基礎教育には大きな特徴があります。それは伝統的な大工技術の習得を

### 1年生の授業から

9日間の集中授業

作業、鑿(のみ)の裏押し。刃物とはどうか、集中学習

通して建築の本質をつかむことを2年間のカリキュラムを貫く骨幹としておこなっています。プロが使う道具は使いこなせるよう

## 伝統の大工技術習得から 建築の本質に触れる

になるには専門知識と練習が必要です。入学生ほとんどが未経験者のため、入学式翌日から9日間の集中授業で「道具づくり」を学びます。

図面を読み解き、材に墨付け、刻みを繰り返し練習して、基本的な継手・仕口が作れるようになります。労働安全教育、建築の仕事に欠かせない数学の復習、線の引き方、字の書き方から練習する基礎製の授業も受けれます。

### 2年生の授業から



2年生(第28期生)の4月の実技実習課題は「廻り階段」。4人1組の5班(うち1班は2階建ての実習棟に取り付ける階段を担当)が原寸図作成から作業を開始。「今やプレカットばかりだが、君たちは階段を図面から自分で作れる大工をめざせ!」という厳しい指導で、緊張感に満ちた授業になっています。この後、2年生の実技実習は7月上旬まで各専門工事職体験になります。

## 原寸図作成から始める「廻り階段」授業

6月16日(日) 学校説明会を開催 授業体験型で

東京建築カレッジは第30期生(来

年4月入学生)募集を始めます。6

月16日(日)午前

10時から(受付9

時45分)、江東実

習場で授業体験型

のオープンキャン

パス(学校説明会

をおこないます。

大工手道具使用や

設計製図など授業

の一部を体験でき

ます(定員10人)

申し込み先着順)。

カレッジの講師・

指導員がていねい

に教えます。

カレッジで学べる

就職先探しの相談

にも対応します。

来春新卒者はもち

ろん転職希望者の

申し込みを歓迎し

ます。



↑申し込みフォーム

## 2019年度・第24期生入学以来 5年ぶりの開催

江東実習場で新入生歓迎会

4月20日(土)の放課後、新入生(第29期生)歓迎会を5年ぶりに開催しました(江東実習場)。前回は第23期生が運営した第24期生歓迎会(2019年4月20日)。第25期生は「緊急事態宣言」により2020年6月入学となるなど、本校はコロナ禍の影響を大きく受けました。第29期生15人(全員)、第28期生18人、先生方9人、事務局・教務2人の合計44人の参加でした。

第28期生(2年生)はカレッジの交流行事初体験でしたが、運営側として、食べ物や飲み物の買い出し、司会や交流企画運営で頑張りました。8月開催予定の納涼会も盛り上げたい、と張り切っています。



交流企画では、腕相撲や指定の長さで部材を切る競争などを楽しみました。